

長野市国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会施設整備計画

概要版



第82回 国民スポーツ大会



第27回 全国障害者スポーツ大会

令和4(2022)年 3月

長野市

文化スポーツ振興部スポーツ課国民スポーツ大会準備室

I 計画策定にあたって

本市のスポーツ振興に対する取り組み・本市のスポーツを取り巻く情勢

- 昭和50(1976)年 スポーツ都市宣言
- 昭和53(1978)年 第33回 国民体育大会「やまびこ国体」
- 平成10(1998)年 長野オリンピック冬季競技大会・長野パラリンピック冬季競技大会
- 平成19(2007)年 第四次長野市総合計画 基本施策「スポーツを軸としたまちづくりの推進」

〈本市の特徴〉

- 長野オリンピック・パラリンピックで整備された大規模スポーツ施設を有する
- 本市を拠点とする4つの地域密着型プロスポーツチームが存在

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会の開催

- 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会 令和10(2028)年開催予定 → 長野県で50年ぶりの国スポ開催
- 数多くの大規模スポーツ施設や宿泊施設を有する本市は、大会開催の中心的な役割を果たす

- 「スポーツを軸としたまちづくりの推進」による地域の活性化
- 長野市出身のトップアスリートを輩出できる競技環境の整備

長野市公共施設マネジメントとの整合

長野市公共施設適正化検討委員会

- ・ 計画策定にあたっての提言を依頼
- ・ 検討にあたりスポーツ関係者を外部委員として加えた「国スポ・全障スポの施設整備検討小委員会」を設置（小委員会は計5回開催）

令和4(2022)年3月3日

施設整備に向けた提言

※ 提言(概要) 4ページ

施設整備計画に反映

提言に基づいた整備方針
整備内容など検討

Ⅱ 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会における施設整備

長野市における実施競技

平成30(2018)年7月2日「競技及び施設選定の基本方針」を定め、施設整備を見据えて実施競技を選定

競技名／種目名		種別	実施予定会場	全障大会	備考
水泳	競泳 飛込 水球 A S※1	全種別※2	長野運動公園総合市民プール（アクアウィング）	○	会期前大会（9月）
バスケットボール		全種別※2	真島総合スポーツアリーナ（ホワイトリング） 長野運動公園総合体育館 南長野運動公園体育館	○ ○ —	
高等学校野球		硬式	長野オリンピックスタジアム 長野運動公園県営野球場	— —	
サッカー		成年女子	南長野運動公園総合球技場（長野Uスタジアム）他	—	
ボウリング		全種別※2	ヤングファラオ	○	民間施設
体操	競技	全種別※2	真島総合スポーツアリーナ（ホワイトリング）	—	会期前大会（9月）
ライフル射撃	CP※3	成年男子	長野県警察学校	—	

※1：アーティスティックスイミング(旧シンクロナイズドスイミング)
 ※2：成年男子、成年女子、少年男子、少年女子の4種別
 ※3：センターファイアピストル

国民スポーツ大会に向けた施設整備の方針（令和2(2020)年7月1日決定）

- ・国民スポーツ大会の開催に必要な施設整備であること
- ・本市のスポーツ施設が抱える課題を解消できる施設整備であること
- ・国民スポーツ大会終了後も市民に有効に活用される施設整備であること
- ・国民スポーツ大会の施設整備の対象となる補助、助成制度を最大限活用する施設整備であること

公共施設適正化検討委員会からの提言（概要）

- 提出日 令和4(2022)年3月3日(水)
- 提出者 長野市公共施設適正化検討委員会(倉田博光委員長)

総論

- 現在の施設は、必要な長寿命化改修を施すなど、十分に活用
- 新たな整備等が必要な場合は、公共施設マネジメントに沿って、十分に検討

なお、施設の整備に当たっては、以下に考慮

- ・ 普段スポーツ施設を利用しない市民を含めた広い市民の理解
- ・ 災害発生時などスポーツ以外での複層的な活用
- ・ ユニバーサルデザインの推進
- ・ 国等による財政的支援の確保や整備後の収支を見越した財政負担の抑制

施設別

体育館

- 総合体育館などの大規模体育館は、スポーツ振興の拠点施設となっているため、国スポ・全障スポ後も重要な役割を維持していくよう検討

プール

- アクアウィングは、長寿命化改修等を行い、国スポ・全障スポ後も有効に活用するよう対応

運動場(野球場)

- 市有施設は、長寿命化改修など適切な対策を検討
- 県有施設は、県に働きかけ、国スポ開催に支障のないよう対応

運動場(球技場)

- 長野スタジアムは、今後も市のスポーツ振興に有効に活用
- 国スポを迎えるに当たり不足する競技環境の確保は、確実に行えるよう対策を検討

Ⅲ 競技開催予定施設(スポーツ施設)の現況と課題

競技開催予定施設の現況と課題を検証、各施設の課題抽出を行った。 注：本市が管理していない施設(ヤングファラオ、長野県警察学校)を除く

競技開催予定施設(スポーツ施設)の課題

競技開催予定施設		課 題
長野運動公園	総合体育館	<ul style="list-style-type: none"> ■ 竣工後43年経過による施設の老朽化 ■ 大規模な大会(試合)の開催が敬遠され、ホワイトリングに開催希望が集中 ■ バリアフリー化不足により全国障害者スポーツ大会の開催に支障 ■ 指定避難所としての機能が不足
	総合市民プール (アクアウィング)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 定期的・計画的な設備更新、整備が必要
	県営野球場	<ul style="list-style-type: none"> ■ 建物・設備の老朽化が激しく、補修や更新が困難 ■ 観客を含めた障害者対応に支障 ■ 飛球対策不足からにより、施設周辺に人的・物的被害が発生する恐れ
	共通事項	<ul style="list-style-type: none"> ■ 休日(週末)における慢性的な駐車場不足
ホワイトリング		<ul style="list-style-type: none"> ■ 施設のポテンシャルを活かした有効利用ができていない ■ 定期的・計画的な設備更新、整備が必要
南長野運動公園	体育館	<ul style="list-style-type: none"> ■ 定期的・計画的な設備更新、整備が必要 ■ アリーナ照明の照度向上、LED化が必要
	長野オリンピックスタジアム	<ul style="list-style-type: none"> ■ 定期的・計画的な設備更新、整備が必要
	総合球技場 (長野Uスタジアム)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 使用頻度の高さ、圍場の不足により、芝生のコンディション維持が困難 ■ サブピッチ及び市内に長野Uスタジアム以外の競技施設がないため、大規模大会(試合)の誘致・開催が困難 ■ 国民スポーツ大会開催には、長野Uスタジアム以外にも施設基準を満たす競技場が必要
	共通事項	<ul style="list-style-type: none"> ■ 休日(週末)における慢性的な駐車場不足

IV 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会施設整備計画の策定

競技開催予定施設（スポーツ施設）

- ・ 主な課題として「定期的・計画的な設備更新、整備が必要」が挙げられた施設
- ・ 公共施設個別施設計画で今後の施設の方針を「長寿命化」としている施設

- アクアウィング ■ 南長野運動公園 体育館
- ホワイトリング ■ 長野オリンピックスタジアム

長寿命化改修による整備

所有者が長野市ではない施設

- 長野運動公園 県営野球場

所有者(県)に改築を要望

国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会 施設整備計画

上記以外の施設等

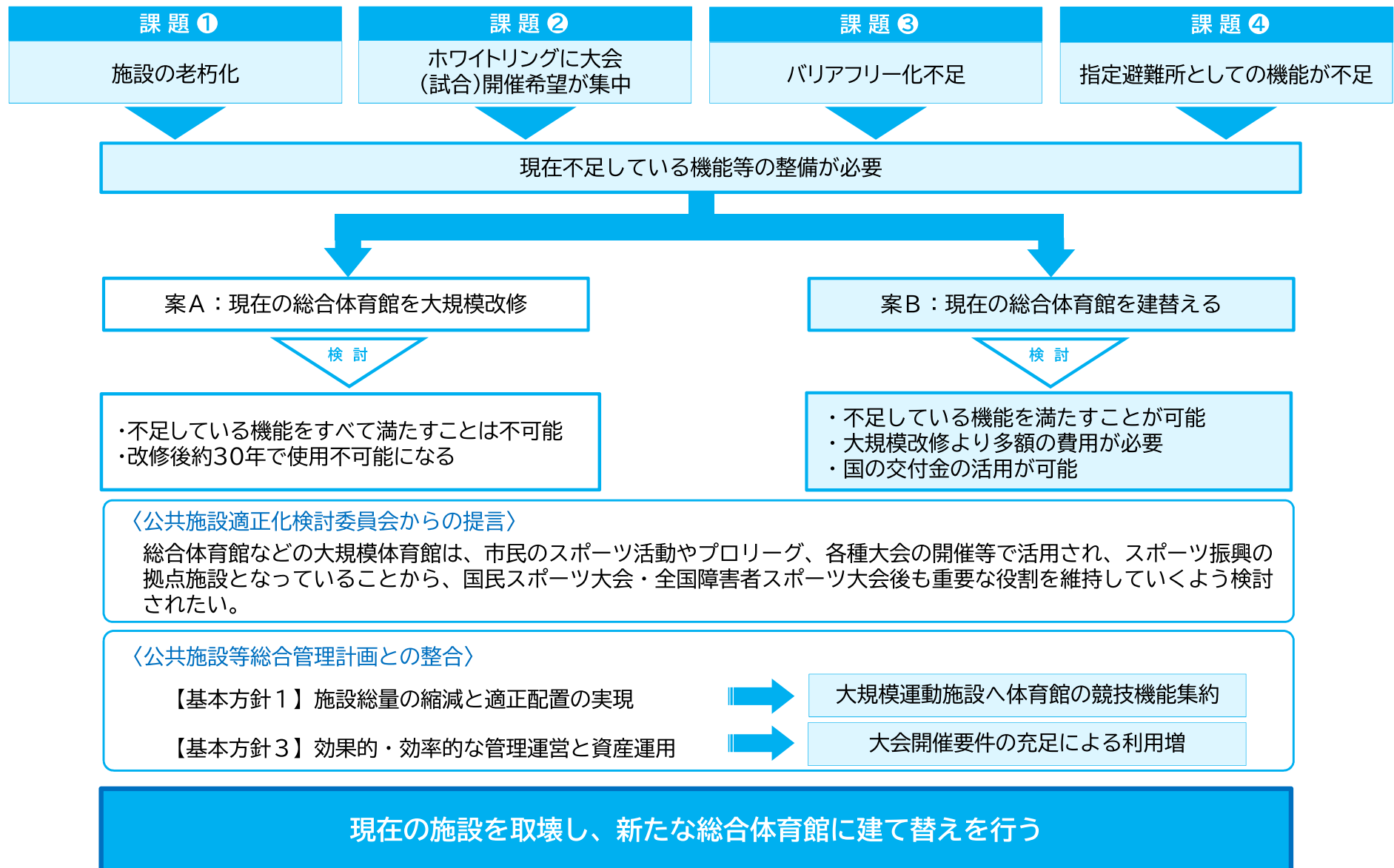
- 長野運動公園 総合体育館 ■ 長野Jスタジアム(フットボール場)
- 両運動公園の駐車場

施設整備計画の対象とする

計画で定める事項

- ① 課題等解消の方法(手段)
- ② 施設整備計画における方針
- ③ 施設整備後の利活用
- ④ 施設の規模・整備の内容(仕様)
- ⑤ 財政負担の軽減
- ⑥ 事業スケジュール

V 長野運動公園 総合体育館



課題解消の方法(手段)を検証した結果、現在の施設を取壊し、新たな総合体育館に建て替えることとします。整備にあたっては、本市全体の大規模体育館のあり方を見直し、将来にわたって市民等に有効に利活用されるものとします。

施設整備後の利活用

■ 本市の大規模体育館のあり方

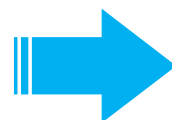
総合計画施策	カテゴリー	役割	施設	主な用途※
スポーツを通じた交流拡大の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 交流人口拡大 ● プロチームとの連携 		ビッグハット	◆ 興行的な大規模スポーツイベントの開催
			ホワイトリング	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 信州プレイウォリアーズのホームゲーム開催 ◆ 国際大会、全国大会、北信越大会の開催 ・長野運動公園総合体育館の建替えを機に体操練習場を移設し、サブアリーナ全面を利用可能にすることにより、本来のポテンシャルを活用
長野運動公園総合体育館	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ボアルース長野のホームゲーム開催 ◆ 全国大会、北信越大会、県大会、北信大会の開催 ◆ 高体連、中体連主催大会の開催 ・建替えを機に体操練習場を移設し、これまでホワイトリングでしか開催されなかった体操関係の大会も開催する			
誰もがスポーツを楽しめる環境づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 生涯スポーツ推進 ● 競技力向上 		南長野運動公園体育館	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 北信越大会、県大会、北信大会、長野市大会の開催 ◆ 高体連、中体連主催大会の開催 ・令和3(2021)年、空調設備を整備
			豊野体育館 信州新町体育館	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 長野市大会等、他の大規模体育館を予約できなかった大会の受け皿として活用 ・利用料が無料であることから空調(冷房)設備の整備は当面行わない

※：「主な用途」は週末(休日)を中心としたものであり、平日は市民のスポーツ活動に利用

施設の規模・整備の内容

■ 施設規模・整備内容の検討にあたり考慮する事項

- 現在抱えている課題の解消
- 「地域・経済活性化」と「市民スポーツ」両方の役割
- ホワイトリングと南長野運動公園体育館の中間的施設
- 将来の集約化の可能性

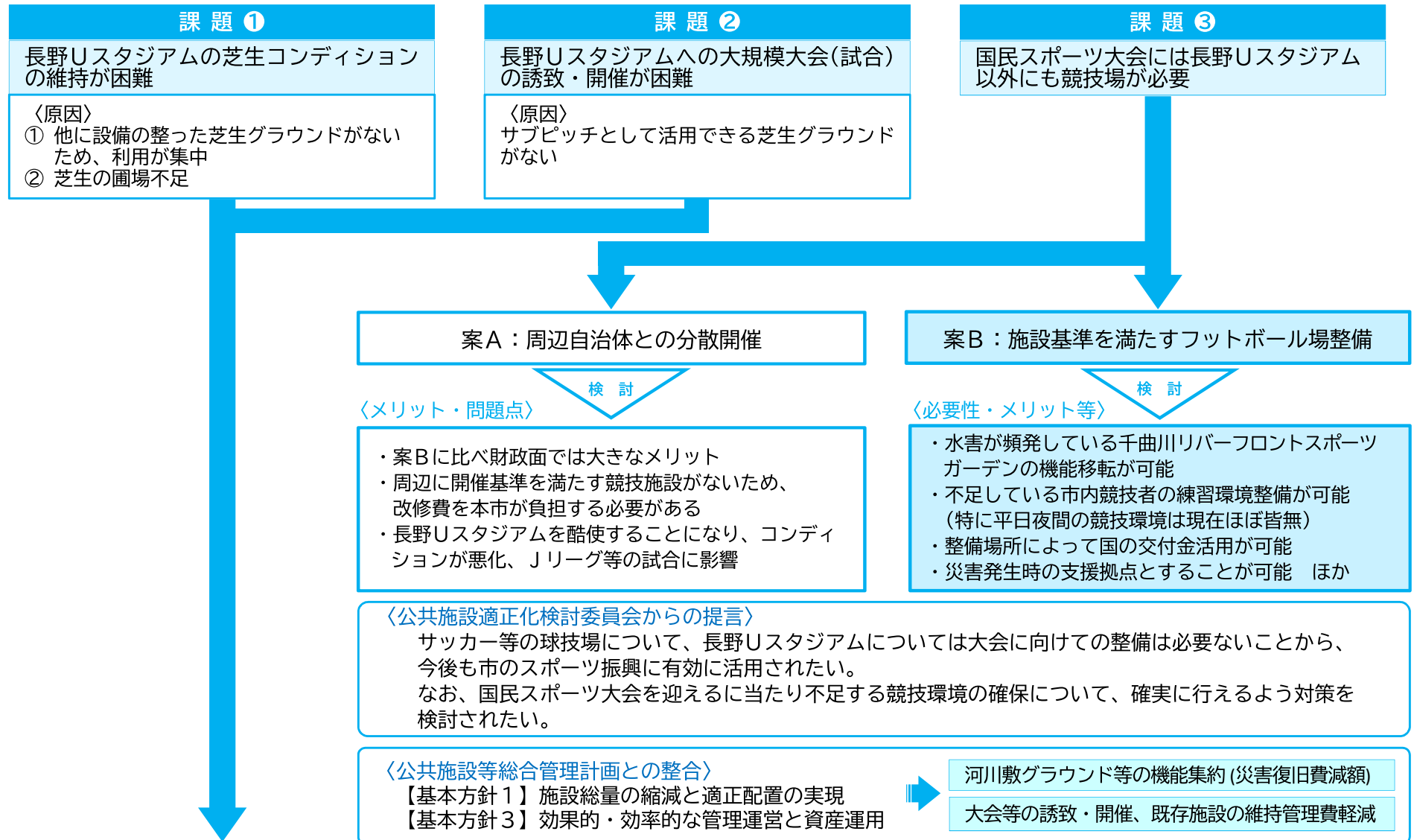


- 現在の競技環境の維持
- 空調設備の整備
- 体操練習場※の整備(移設)

※：現在ホワイトリングサブアリーナに常設

- ・国民体育大会の競技施設基準
- ・ユニバーサルデザイン
- ・防災拠点としての機能 など

VI 長野Uスタジアム（フットボール場）



堤内地へのフットボール場（芝生グラウンド）の整備

課題解消の方法(手段)を検証した結果、堤内地にフットボール場(芝生グラウンド)を整備し、長野Uスタジアムだけでなく本市のサッカー等の競技を取り巻く課題を解消又は軽減するものとします。

施設の規模・整備の内容(仕様)

規模等の検討にあたり考慮する規定等

- (公財)日本サッカー協会 国民体育大会サッカー競技 施設ガイドライン
 - ➔ 成年女子の開催は3面が必要
 - 人工芝を2面以上利用する場合は、同一敷地内に隣接していること

国スポ後の有効利用

- (公財)日本サッカー協会 競技運営部 国際試合開催条件
 - ➔ 練習会場は天然芝

- 大規模大会(少年～社会人)の開催傾向
 - ➔ 試合数の制限がいない人工芝2面以上の同時利用ができる会場で開催

- 天然芝ピッチの主な特徴 ➔ 競技者の身体への負担少、維持管理費が高い
連続した使用ができない
- 人工芝ピッチの主な特徴 ➔ 維持管理費が天然芝と比較して格段に安い
連続した使用が可能

施設整備の候補地

- 想定する規模の整備が可能で、かつ、整備する各施設が分散せず一体的利用ができること
- 国庫補助の活用が可能な立地条件であること

防災拠点としての機能

- 駐車場 ➔ 災害支援関係車両専用駐車場としての機能
- 人工芝グラウンド ➔ テント等の設営場所としての機能
- クラブハウス倉庫・観客席 ➔ 物資の集積所としての機能

整備する規模・整備内容(仕様)

■ 天然芝1面、人工芝2面のグラウンド

- ・ピッチサイズ 縦120m×横80m程度、周囲に管理用通路(ラグビー、アメフトにも対応できるサイズ)
- ・シャワー付き更衣室、医務室、会議室等があるクラブハウス
- ・400台程度の駐車場
- ・天然芝グラウンド用の芝生の圃場
- ・夜間照明、防球ネット、観客席、公衆トイレ 等

今後、複数の候補地を選定し、当該地域や地権者(用地買収を伴う場合)の意向を踏まえ、関係機関等と協議を行った上で、最終的な整備地を決定



人工芝グラウンドでの宿営訓練の例

施設整備後の利活用(本市の芝生グラウンドのあり方)

現在の競技環境

総合計画施策	カテゴリー	施設	面数	課題
スポーツを通じた交流拡大の推進	◇交流人口拡大 ◇経済・地域活性化 ◇プロチームとの連携	長野Uスタジアム	1 (天然)	・練習ピッチ(サブピッチ)がなく試合・大会誘致に支障 ・利用頻度が高く、芝生の圃場が不足
誰もがスポーツを楽しめる環境づくりの推進	◇競技施設	リバーフロントスポーツガーデン	5 (天然)	・堤外地(河川敷)のため、度々水害の影響を受けている ・夜間照明、防球ネット、観客席等の工作物が設置できない ・天然芝であるため、養生期間をとる必要がある
豊富な観光資源等を活かした観光交流促進	◇観光資源	飯綱高原南グラウンド	1 (天然)	・芝生の状態が非常に悪く、相当部分が雑草の状態 ・更衣室、トイレが老朽化しているほか、防球ネットがない



将来の競技環境

カテゴリー	施設名	面数	目指す用途	整備年
◇交流人口拡大 ◇経済・地域活性化 ◇プロチームとの連携	長野Uスタジアム	1 (天然)	・国際大会(男子アンダー代表、女子代表等)開催 ・Jリーグ/WEリーグ公式戦 ・天皇杯/皇后杯等カップ戦 ・各種大規模大会の決勝、3位決定戦	H15 (改修H27)
	フットボール場 天然芝グラウンド	1 (天然)	・AC長野パルセイロの練習拠点 ・国際大会の練習等(Uスタジアムのサブピッチ)	R9 (予定)
	人工芝グラウンド	2 (人工)	・市内クラブチーム等一般競技者の練習(平日夜間中心) ・各種大規模大会の予選リーグ、順位決定トーナメント ・各年代のリーグ戦、カップ戦(休日 昼夜間)	R9 (予定)
◇競技施設	千曲川リバーフロントスポーツガーデン	5 (天然)	・各年代のリーグ戦、カップ戦(休日昼間) ・市内クラブチーム等一般競技者の練習(休日昼間)	H2 (改修H29)
◇観光資源	飯綱高原南グラウンド (R3 再整備)	1 (天然)	・サッカー合宿利用等による飯綱地区の活性化 ・サッカーの避暑地としての利用 ・合宿等の空きコマは市民、パルセイロ利用により活用	S60 (改修R3)

注：青字の用途はフットボール場の整備および飯綱高原南グラウンドの再整備により新たに本市に加わるもの

財政負担の軽減

フットボール場の整備にあたっては、国民スポーツ大会の施設整備に活用できる国庫補助等、特定財源を最大限活用するとともに、整備後の維持管理費について既存の芝生グラウンドの維持管理方法を見直し、全体としての市負担額（指定管理料）軽減を図ります。

■ 芝生グラウンドの維持管理

施設名		面数	現況	整備後	フットボール場整備後の維持管理
長野Uスタジアム		1	36,000	36,000	・プロリーグ開催に適した芝生を維持するため維持管理費削減は困難 ※ 金額は芝生ピッチの維持管理費のみ
千曲川リバーフロントスポーツガーデン		5	100,000	60,000	・フットボール場整備後、プロ仕様の芝を見直し祝休日中心の利用へ転換し芝生への負担軽減 ・その他、水害後の工事期間を長期化できるようになることから、復旧費の軽減が可能
飯綱高原南グラウンド		1	8,600	8,600	・飯綱高原観光協会では合宿誘致の競技をアメフトからサッカーへ方針転換 ・再整備により維持管理費は増えるが、利用料収入の増により指定管理料は変わらない見込み
フットボール場	天然芝グラウンド	1	—	5,300	・維持管理費 20,000千円、収入 1,500千円 ・プロチームの練習に適した芝生を維持 ・維持管理用資機材を他のグラウンドと共有
	人工芝グラウンド	2	—		・維持管理費 4,000千円、収入 17,200千円 ・平日は夜間の練習、祝休日は大会利用を想定 ・10年前後で全面的な張替えが必要
合計			144,600	109,900	フットボール場整備後は、芝生グラウンド全体で従来より年間34,700千円の削減が可能

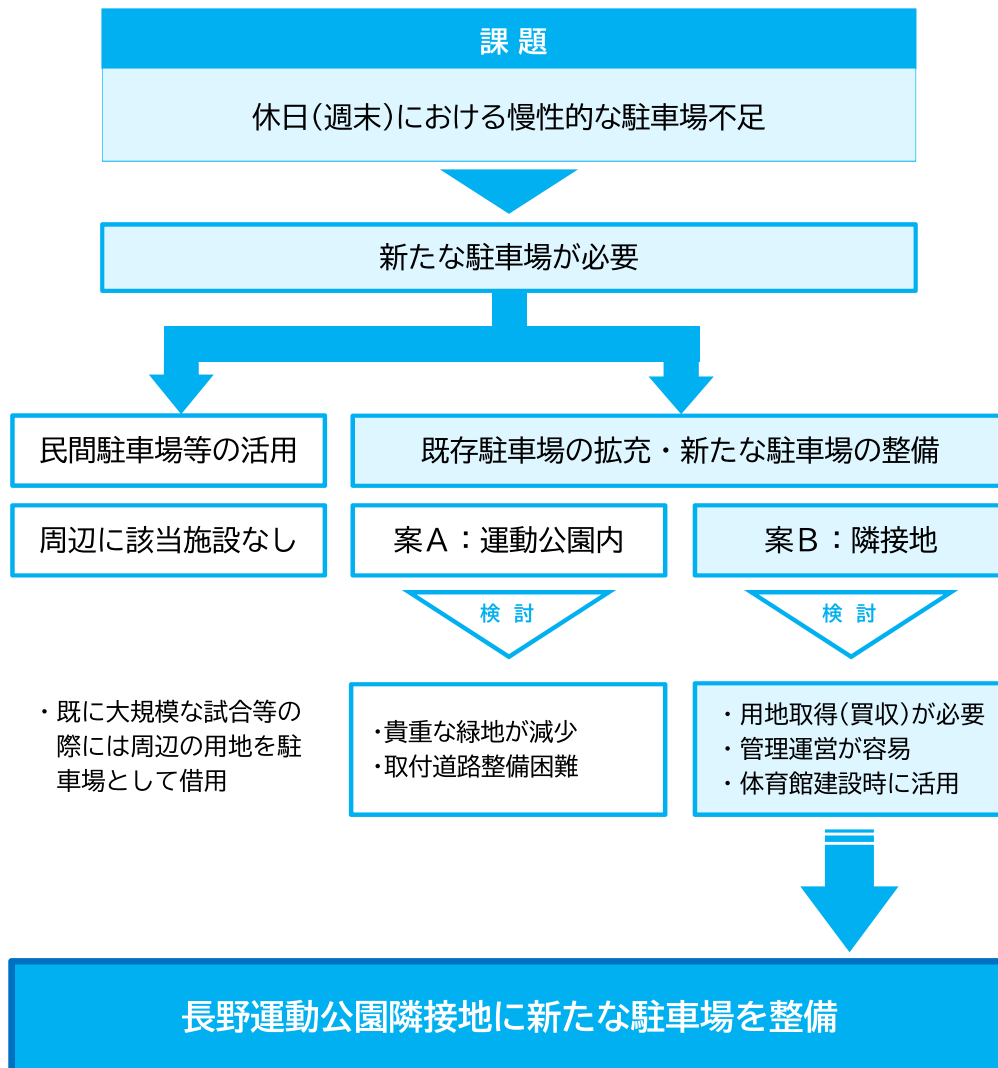
■ その他の施設の見直し

- ・ 将来、利用人数が少なくなった場合、千曲川リバーフロントスポーツガーデンのピッチ数等を調整
- ・ 被災する可能性の高い河川敷グラウンド(運動場)の見直し

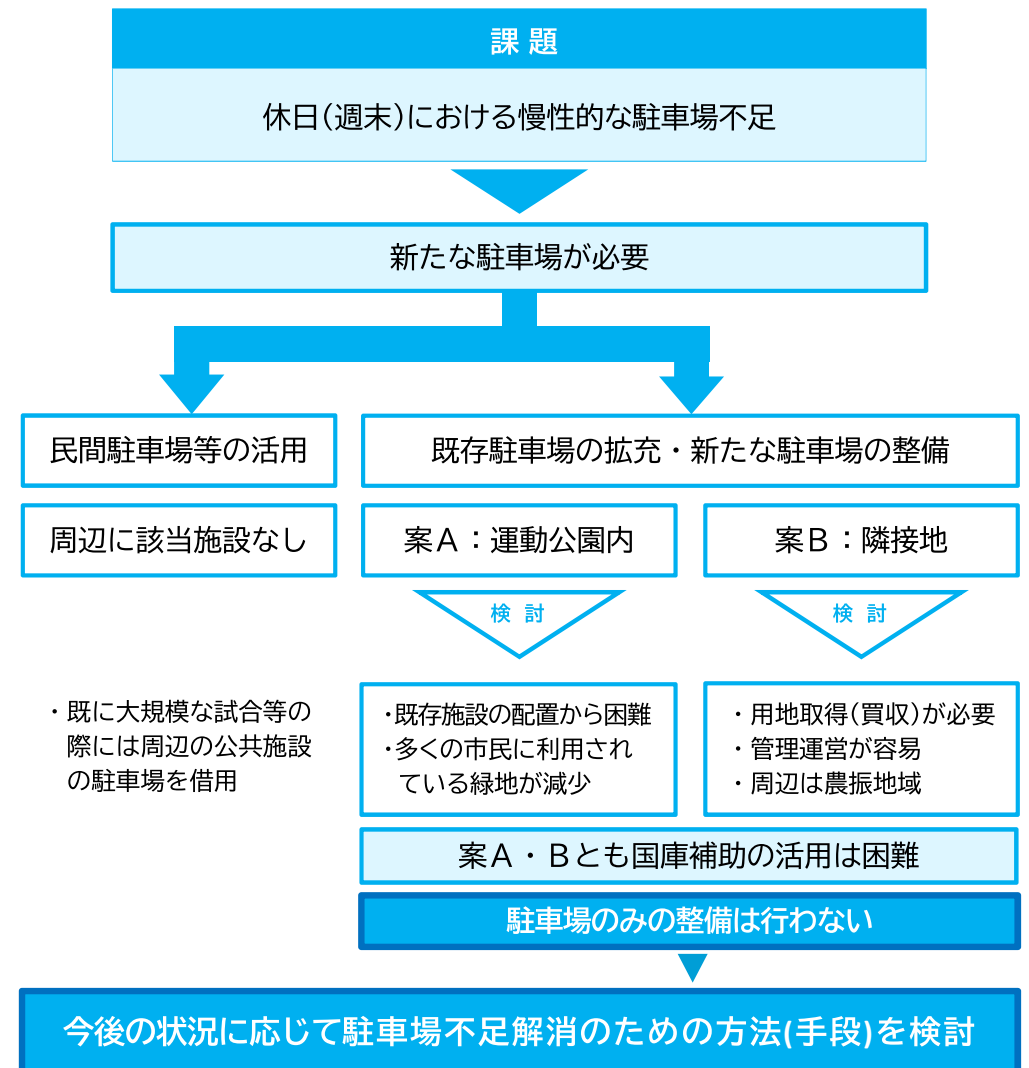
VII 駐車場

両運動公園の駐車場の課題解消方法(手段)を検証した結果、長野運動公園については隣接地に新たな駐車場を整備し、南長野運動公園については、駐車場のみの整備は行わず、今後の状況に応じて駐車場不足解消のための方法(手段)を検討します。

■ 長野運動公園



■ 南長野運動公園



今後のスケジュール

年度	総合体育館	フットボール場	駐車場	
			長野運動公園	南長野運動公園
R 3 (2021)	施設整備計画策定			
R 4 (2022)	整備手法決定 基本計画	候補地選定 地区・地権者説明 整備地の決定	都市計画変更 事業認可手続き	駐車場不足解消のため の方法（手段）検討
R 5 (2023)	基本設計	用地取得 実施設計	実施設計	
R 6 (2024)	実施設計	整備工事	整備工事	
R 7 (2025)	建設・解体工事		供用開始	
R 8 (2026)				
R 9 (2027)	供用開始		リハーサル大会 開催	
R10(2028)		供用開始	第82回 国民スポーツ大会・第27回 全国障害者スポーツ大会 開催	